

事務事業評価シート

(H.30)No.	1086	(H.29)No.	1086
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ごみゼロ・リサイクル推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
地域環境部	環境対策室	海野 隆広	

会計区分	事業コード	271501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	衛生費	ごみゼロ・リサイクル推進事業
項	清掃費	(小事業名)
目	ごみ対策費	ごみゼロ・リサイクル推進事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	2	環境負荷の少ない社会の創造
	施策	2	循環型社会
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
環境と共生する資源循環型社会を目指し、ごみの発生抑制、減量化、資源化の促進に向けた啓発等を実施することにより、ごみゼロ社会を構築します。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムに基づくごみの分別、減量化に向けた啓発の実施 ・ごみ分別ガイドブックの作成や外国人向け日程表の作成 ・紙おむつ専用ごみ袋の購入 ・不法投棄物等回収袋ごみ袋の作成、配布 ・草木類のリサイクル事業の委託

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・3Rポスター応募報償 18千円 ・資源分別看板購入 100千円 ・事業系ごみ減量化ハンドブック作成・配布 100千円 ・外国語版日程表翻訳 183千円 ・紙おむつ専用ごみ袋購入・配布(202 300,000枚)6,500千円 ・草木類資源化委託(シルバー人材センター委託)3,000千円 ・剪定枝粉碎処理車修繕300千円(29年度実績 83件) ・剪定枝粉碎機購入 32千円(29年度貸出件数 58件) ・一般廃棄物処理計画策定など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別啓発 ・外国語版日程表翻訳 ・紙おむつ専用ごみ袋購入・配布 ・草木類資源化委託 ・一般廃棄物処理計画策定など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別啓発 ・外国語版日程表翻訳 ・紙おむつ専用ごみ袋購入・配布 ・草木類資源化委託 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別啓発 ・外国語版日程表翻訳 ・紙おむつ専用ごみ袋購入・配布 ・草木類資源化委託 など

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		11,321千円		10,854千円	10,854千円	10,854千円	10,854千円
内訳(千円)	国・県支出金		69				
	地方債						
	その他(衛生費寄付金)		133		4,005		
	一般財源	0	11,119	0	6,849	10,854	10,854
人工数	職員		1.39人		1.69人	1.69人	1.69人
	臨時職員等		0.18人		0.18人	0.18人	0.18人
②概算人件費	0千円	10,610千円	0千円	12,830千円	12,830千円	12,830千円	12,830千円
①+②総事業費	0千円	21,931千円	0千円	23,684千円	23,684千円	23,684千円	23,684千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
ごみゼロアクションプログラムの改定とともに、本プログラムの行動計画の一つである3Rの推進として家庭系ごみの分別と適正排出の啓発を目的としてごみ分別ガイドブック及び容器包装プラスチック分別チラシの継続配布を行うとともに、事業系ごみの減量・資源化啓発目的として、事業系ごみ減量化ハンドブックの作成、配布を行いました。ごみの減量・資源化に成果を上げるとともに、学校、地域等に出向いて環境学習会等によるごみ減量化、資源化の啓発を行いました。また、地域づくり組織、学校、市民活動団体とごみや環境の対策について連携を図りました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
家庭系ごみ排出量は、県内で最小レベルですが、引続き3Rを推進し、ごみ減量の啓発を行います。また、草木類リサイクル事業を継続して進めます。紙おむつ専用袋は、家庭ごみ有料化に伴う減免措置として導入しましたが、現在では介護支援、子育て支援対策に貢献しています。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム、第三次なばり快適環境プラン